

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

つながり、守る自然環境

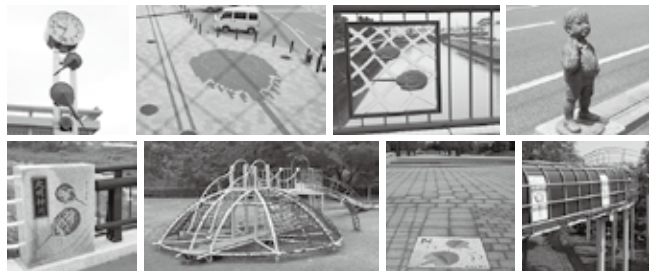
～カブトガニ天国の復活に向けて～

2億年前から現在まで、姿を変えていないカブトガニ。かつて、東予地区の海岸は「カブトガニ天国」と呼ばれるほどの繁殖地でしたが、海岸の埋め立てや海水汚染などでその数が減少し、現在は絶滅の危機にひんしています。

カブトガニを守ることは、漁場や自然環境だけでなく私たち人間を守ることにつながるの思いから、市民・カブトガニを守る会・行政が一体となって、海岸清掃や幼生放流などの保護活動を行ってきました。こうした地道な活動により、成長した幼生発見などの成果も認められるようになりましたが、さらに多くの皆さんにカブトガニの保護を通じた環境保全活動に関心を持ってもらおうと、市内には多くのカブトガニのモニュメント等が設置されています。

東予総合支所駐車場の時計に始まり、JR壬生川駅トイレの外壁と駅前広場、国道196号・大曲川橋歩道の欄干、新地通りの子どもの像、大明神川・天井川大橋の親柱、本谷公園の滑り台、東予運動公園の中央広場と滑り台、東予郷土館前のふれあいの路と館内ホールで見られます。

東予郷土館ではカブトガニの公開飼育も行っています。飼育槽の砂地に潜んでいるカブトガニを探してみませんか。



丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

身近な近代化土木遺産

～80歳を迎えた志川橋～

中山川の支流である志河川。近年、この川の上流に志河川ダムが完成したことから「志河川」の名をご存じの方もいらっしゃるでしょう。



▶ 80年の風雪に耐えた風格が…

その志河川に架かる志川橋は、幅員5.5メートル、橋長38.1メートルの、アーチの上を道路が走る上路アーチ橋で、アーチ部分をコンクリートなどで補強する充腹アーチに分類されます。県内に11橋確認されている上路アーチ橋の充腹タイプの中では、第2位の橋長を誇っています。

国道11号が建設されるまで、かつての基幹道であった旧国道24号の志川橋は木造の橋でしたが、腐食のため昭和6年に鉄筋コンクリート構造の、現在の志川橋に付け替えられたのです。

重いコンクリートのアーチに丸みを付けていく、当時の型枠技術のレベルの高さを、うかがい知ることのできる土木遺産の一つである志川橋。国道11号からは、この志川橋越しに松山自動車道の近代的な橋脚を同時に眺めることができ、志川橋が過ぎしてきた80年という長い歴史を再認識することができます。



◀ 直線的な松山道（奥）と優美な姿の志川橋

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

自治会コミュニティの絆も深める

～小松町ソフトボール愛好会～

昭和50年に発足した小松町ソフトボール愛好会は、小学校へ夜間照明施設が整備されたことに伴い、設立の翌年にナイターリーグを開始しました。昭和50年代・60年代の全盛期には、参加チーム数26・会員総数500人以上にもなり白熱したプレーが展開されていました。

設立から37年目を迎える今年、会員の高齢化も進み、参加チームは西常盤・南川・小松クラブの3つとなり存続が危ぶまれましたが、新たに西条クラブを迎えて4チームでのリーグ戦をスタートしました。毎週金曜日の午後8時から、小松中央公園では40歳代から70歳代までの往年の名選手たちが、コントロール抜群のピッチングや華麗な守備、そして豪快なバッティングを競っています。



▶ みんなが花形プレイヤー！

愛好会の戸田裕喜会長は、「笑顔と歓声が響く中、爽やかな汗を流し健康維持や親睦を図っています。試合後の懇親会では、自治会内の問題点を話し合うなどコミュニティ構築の一助ともなっています。わずか4チームのリーグですが、みんなのやる気がある間は何とか続けていこうと思っています」と話してくれました。

新チームの参加はもちろん、かつて結成していたチームの復活も大歓迎です。もう一度、タンスの奥で眠っているユニフォームに袖を通してみませんか。

新チームの参加はもちろん、かつて結成していたチームの復活も大歓迎です。もう一度、タンスの奥で眠っているユニフォームに袖を通してみませんか。